

令和6年度 事業計画書

素形材産業は我が国の機械産業を支える機械部品を生産・供給する基盤的産業である。この素形材産業の総合的な発展を図るため、引き続き、素形材人材育成、素形材普及啓発及び素形材交流促進など素形材産業の振興に取り組むとともに、素形材技術等の研究開発などを推進する。

1. 素形材人材育成事業

素形材産業の技術・技能の充実・継承のため、鋳造等の素形材産業に従事する技術者・技能者又は、従事しようとする者を対象とした「素形材技術研修講座」を実施する。

中堅技術者を対象として鋳造、鍛造、IT・IoT、環境等についての最新の素形材に関する技術について、情報を収集・提供するため「素形材技術セミナー」を、また、国内外の経済動向、デジタル化の進展等素形材ユーザー業界の動向等に関する最新の経営情報を収集し、素形材企業経営の最前線にいる経営者等を対象とした「素形材経営セミナー」を開催する。

2. 素形材普及啓発事業

1) 素形材情報収集発信事業

素形材産業を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、企業経営、技術、情報化、国際動向等の経営革新に資する経営情報及び技術情報を収集・提供する。

ホームページの活用、メールマガジンの配信、展示会への出展等で、アップ・ツー・デートの情報を提供する。

また、素形材情報出版事業として、月刊情報誌「素形材」、「素形材年鑑」、各種の「報告書」等を発行する。

2) 素形材月間普及事業

素形材産業の活性化と素形材さらにはものづくりに対する一般の理解向上を目的に、11月を「素形材月間」として各種事業を進めるとともに、素形材関連団体のイベントの集中開催を推奨する。「素形材月間記念式典」を11月の第一金曜日に開催する。

3) 素形材産業顕彰事業

我が国の素形材産業に係わる技術の開発・実用化等により技術水準の向上に貢献した技術の開発者及び素形材企業経営によりわが国素形材産業の模範となる企業の経営者並びに素形材に従事する卓越した技能者等を表彰する事業を実施する。

受賞技術等は、月刊誌「素形材」及びホームページ等で紹介し、素形材産業の発展を促進する。

3. 素形材交流促進事業

素形材産業の振興を図るため、素形材団体の交流促進、経済産業省との意見交換、素形材ユーザー業界との懇談会等を実施する。具体的には、「素形材団体交流委員会」（素形材関連21団体で構成）の定期的な開催、経済産業省幹部と素形材産業界首脳が意見交換を行う場として「素形材産業会長会」の開催、日本自動車工業会や日本自動車部品工業会等との「懇談会」を企画・開催する。

4. 素形材技術研究開発事業

素形材産業の振興を図るため、素形材技術にかかる研究開発等を実施・推進する。

1) 中小企業技術開発事業

中小企業に係る成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）（補助）などを活用して、中小素形材企業の研究開発を実施する。

2) 次世代材料技術研究開発事業

RIMCOF 技術研究組合（令和2年3月31日解散、令和3年1月13日清算終了）より引き継いだ過去の METI/NEDO プロジェクトの知財管理・文書管理等を実施する。

5. 素形材産業に関する調査・研究事業

素形材産業の振興に寄与するため、素形材産業の振興に係る調査研究等の事業を実施する。また、日本ダイカストマシン工業会の事務受託を継続するとともに、(一社)日本金属プレス工業協会の活動を支援する。

以上の事業を進めるに際し、より効率的な運営を目指すため、事業の実施方法及び実施体制の検討を行い、必要に応じてその改善を図る。

また、事業の実施に際しては、次の委員会等を活用して実施する。

- ① 素形材団体交流委員会
- ② 素形材編集委員会
- ③ 素形材技術研修委員会
- ④ 素形材産業技術表彰委員会
- ⑤ 素形材産業経営表彰委員会
- ⑥ 素形材産業優良従業員表彰委員会

その他必要に応じ、委員会を設置する。